

市政アンケートモニター

くるもに

平成30年度第3回調査結果報告書
「ごみの減量とリサイクルの推進」

「食と農への理解促進」

久留米市



目 次

| | | |
|-----|----------------------|----|
| I | 調査の目的 | 1 |
| II | 調査方法 | 1 |
| III | 回答者の属性 | 1 |
| IV | 調査結果 | |
| | * 家族構成、世帯の人数、住居の形態 | 2 |
| 1 | ごみの減量とリサイクルの推進 | |
| | (1) 家庭におけるごみ減量化の取り組み | 3 |
| | (2) 家庭におけるごみの出し方 | 6 |
| | (3) 市が行う取り組み | 7 |
| 2 | 食と農への理解促進 | |
| | (4) 久留米市の農業や農産物への意識 | 10 |
| | (5) 農業と普段の生活との関わり | 11 |
| | (6) 食育について | 14 |
| V | 使用したアンケート調査票 | 16 |

I 調査の目的

このアンケート調査は、市民の皆さんの市政に関する意向やニーズを把握し、市の施策推進の参考データとするために実施しています。

II 調査方法

- (1) 調査地域…久留米市全域
- (2) 調査対象者…久留米市在住の満 18 歳以上の市民
- (3) 選任方法…住民基本台帳から無作為抽出した候補者の中からモニターを募集
- (4) 実施方法…インターネット調査
- (5) 調査項目…第 3 回調査「ごみの減量とリサイクルの推進」「食と農への理解促進」
- (6) 調査期間…平成 30 年 10 月 19 日 ~ 11 月 12 日
- (7) サンプル数…360
- (8) 回収数(率)…314 (87.2%)

III 回答者の属性

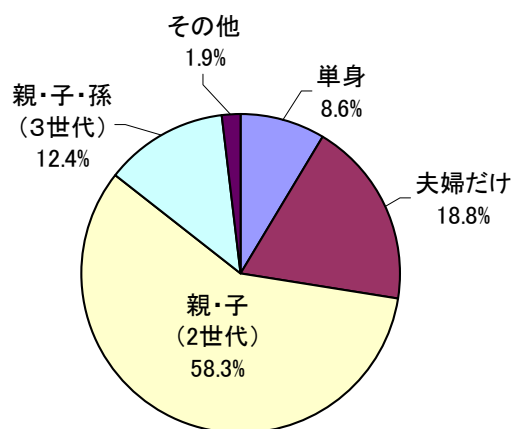
| | | (人) | (%) |
|--------|----------------------|-----|------|
| 性別 | 男性 | 132 | 42.0 |
| | 女性 | 182 | 58.0 |
| | 計 | 314 | 100 |
| 年齢 | 20歳代以下 | 44 | 14.0 |
| | 30歳代 | 70 | 22.3 |
| | 40歳代 | 76 | 24.2 |
| | 50歳代 | 67 | 21.3 |
| | 60歳代 | 42 | 13.4 |
| | 70歳以上 | 15 | 4.8 |
| | 計 | 314 | 100 |
| 職業 | 農林漁業 | 1 | 0.3 |
| | 自営業 | 18 | 5.7 |
| | 給与所得者(常勤) | 174 | 55.4 |
| | パート・アルバイト (学生は除く) | 48 | 15.3 |
| | 学生 | 11 | 3.5 |
| | 家事に専念 | 30 | 9.6 |
| | 無職 | 23 | 7.3 |
| | その他 | 9 | 2.9 |
| | 計 | 314 | 100 |
| 地域ブロック | 東部 | 25 | 8.0 |
| | 北部 | 33 | 10.5 |
| | 中央東部 | 55 | 17.5 |
| | 南東部 | 27 | 8.6 |
| | 中央部 | 50 | 15.9 |
| | 中央南部 | 67 | 21.3 |
| | 南西部 | 30 | 9.6 |
| | 西部 | 27 | 8.6 |
| | 合計 | 314 | 100 |

※地域区分 (校区)

| | |
|-------|--------------------------|
| 東部: | 山川、山本、草野、善導寺、大橋 |
| | 船越、水分、芝刈、川会、竹野、水縄、田主丸 |
| 北部: | 小森野、合川、宮ノ陣、北野、弓削、大城、金島 |
| 中央東部: | 西国分、東国分、御井 |
| 南東部: | 上津、高良内、青峰 |
| 中央部: | 荘島、日吉、篠山、京町、南薫、長門石 |
| 中央南部: | 鳥飼、金丸、南、津福 |
| 南西部: | 荒木、大善寺、安武 |
| 西部: | 城島、下田、青木・浮島、江上、犬塚、三瀧、西牟田 |

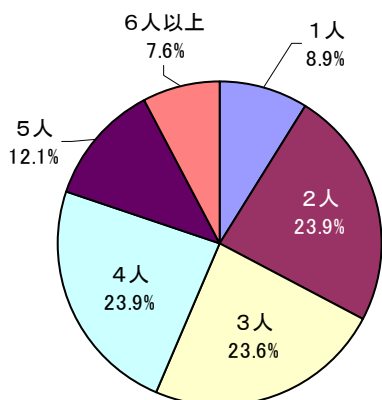
IV 調査結果

●問1 あなたの家の家族構成は (N=314)



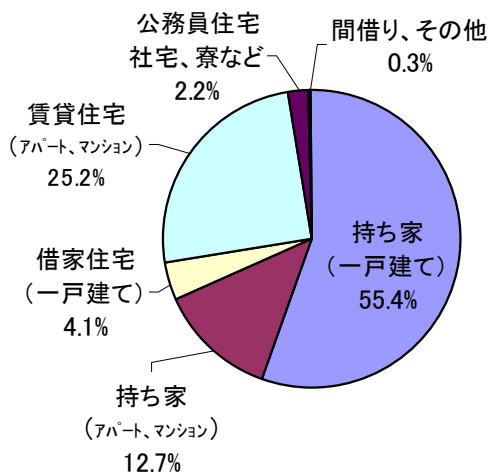
| | (人) | (%) |
|------------|-----|------|
| 単身 | 27 | 8.6 |
| 夫婦だけ | 59 | 18.8 |
| 親・子(2世代) | 183 | 58.3 |
| 親・子・孫(3世代) | 39 | 12.4 |
| その他 | 6 | 1.9 |

●問2 あなたの世帯の人数は (N=314)



| | (人) | (%) |
|------|-----|------|
| 1人 | 28 | 8.9 |
| 2人 | 75 | 23.9 |
| 3人 | 74 | 23.6 |
| 4人 | 75 | 23.9 |
| 5人 | 38 | 12.1 |
| 6人以上 | 24 | 7.6 |

●問3 お住まいの形態は (N=314)



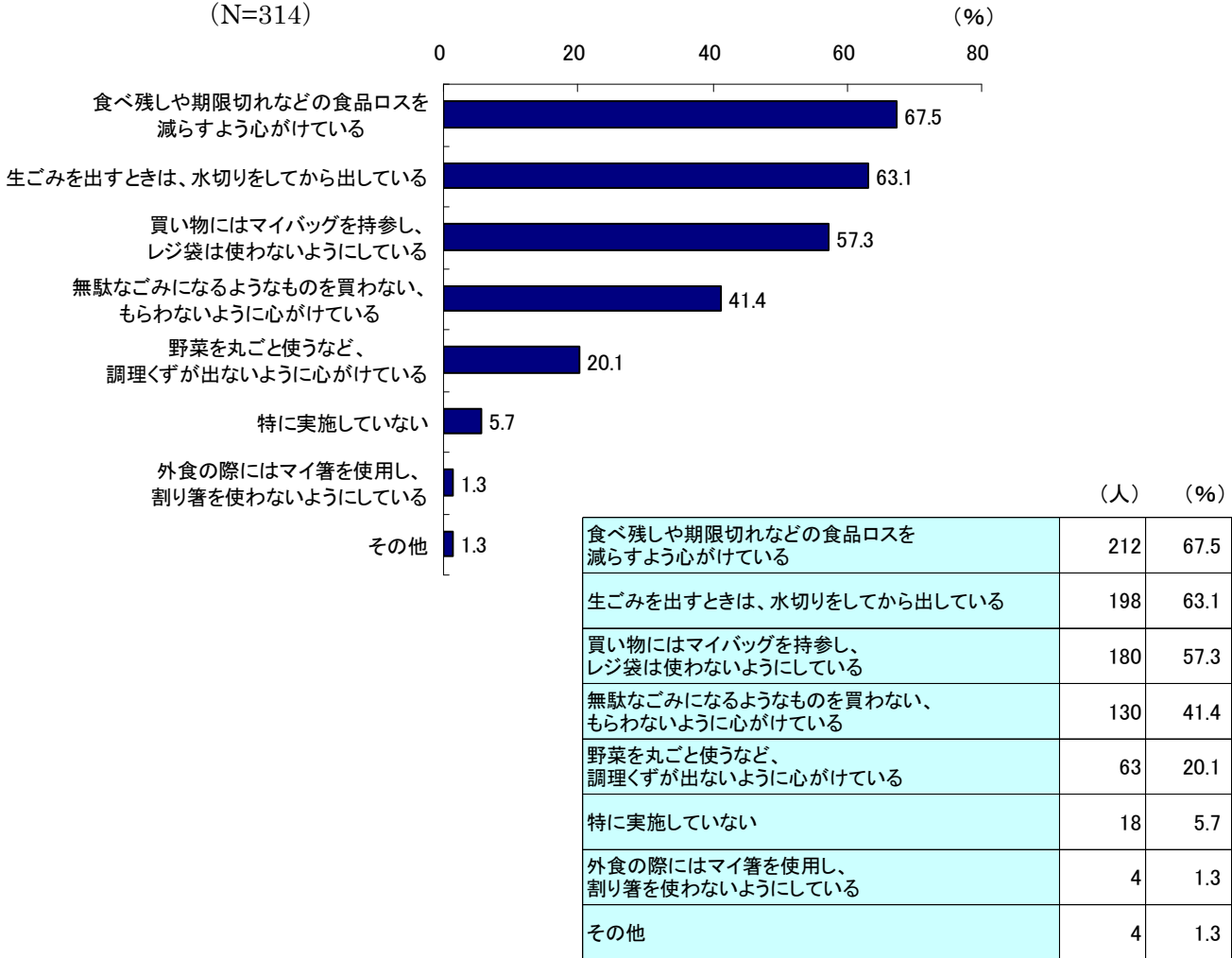
| | (人) | (%) |
|--------------------|-----|------|
| 持ち家(一戸建て) | 174 | 55.4 |
| 持ち家(アパート、マンションなど) | 40 | 12.7 |
| 借家住宅(一戸建て) | 13 | 4.1 |
| 賃貸住宅(アパート、マンションなど) | 79 | 25.2 |
| 公務員住宅、社宅、寮など | 7 | 2.2 |
| 間借り、その他 | 1 | 0.3 |

1 ごみの減量とリサイクルの推進

(1) 家庭におけるごみ減量化の取り組み

●問4 ごみを出さない取り組み（リデュース）として、あなたが実践しているものは何ですか。（※複数回答）

(N=314)



●問4付問 ごみを出さない取り組み（リデュース）を実践していない理由は何ですか。（※複数回答。問4で「特に実践していない」と回答した人）

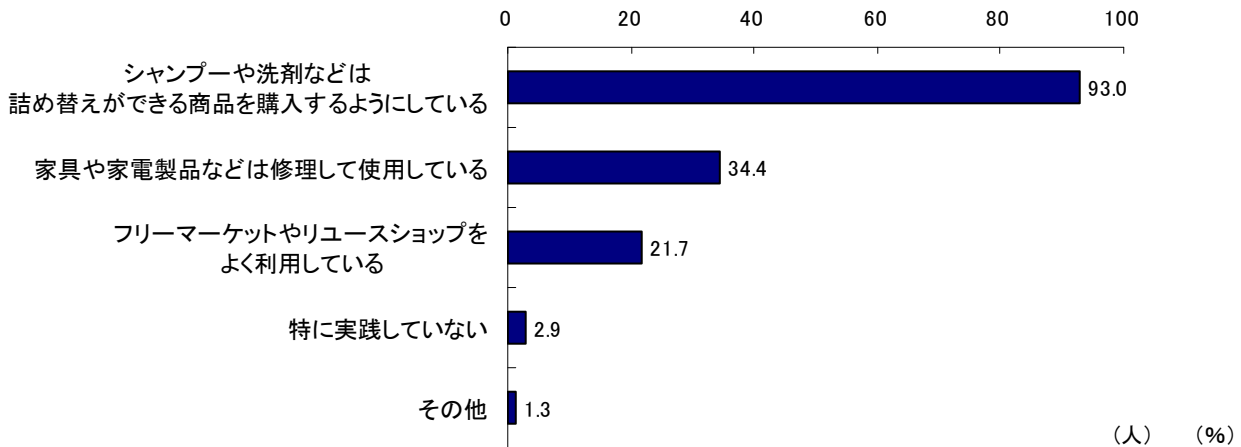
(N=18)

| 理由 | (人) |
|---------------------|-----|
| 取り組みが面倒だから | 6 |
| 取り組む方法が分からないから | 4 |
| 取り組みを行っても意味がないと思うから | 3 |
| その他 | 5 |

●問5 繰り返し使う取り組み（リユース）として、あなたが実践しているものは何ですか（※複数回答）

(N=314)

(%)



| | (人) | (%) |
|-----------------------------------|-----|------|
| シャンプーや洗剤などは詰め替えができる商品を購入するようにしている | 292 | 93.0 |
| 家具や家電製品などは修理して使用している | 108 | 34.4 |
| フリーマーケットやリユースショップをよく利用している | 68 | 21.7 |
| 特に実践していない | 9 | 2.9 |
| その他 | 4 | 1.3 |

●問5付問 繰り返し使う取り組み（リユース）を実践していない理由は何ですか。（※複数回答。問5で「特に実践していない」と回答した人）

(N=9)

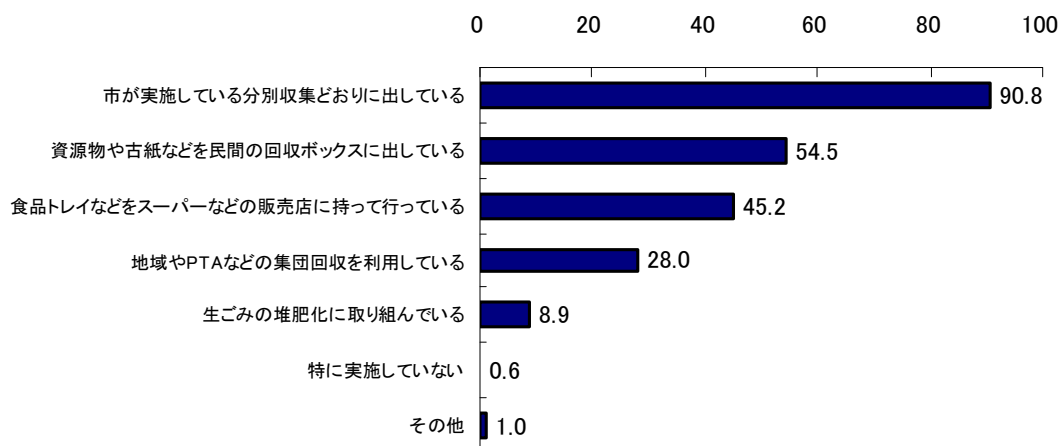
(人)

| | |
|---------------------|---|
| 取り組みが面倒だから | 4 |
| 取り組む方法が分からないから | 2 |
| 取り組みを行っても意味がないと思うから | 1 |
| その他 | 3 |

●問6 ごみを再資源化して利用する取り組み（リサイクル）として、あなたが実践しているものは何ですか。（※複数回答）

(N=314)

(%)



| | (人) | (%) |
|-----------------------------|-----|------|
| 市が実施している分別収集どおりに出している | 285 | 90.8 |
| 資源物や古紙などを民間の回収ボックスに出している | 171 | 54.5 |
| 食品トレイなどをスーパーなどの販売店に持って行っている | 142 | 45.2 |
| 地域やPTAなどの集団回収を利用している | 88 | 28.0 |
| 生ごみの堆肥化に取り組んでいる | 28 | 8.9 |
| 特に実施していない | 2 | 0.6 |
| その他 | 3 | 1.0 |

●問6付問 ごみを再資源化して利用する取り組み（リサイクル）を実践していない理由は何ですか。

(※複数回答。問6で「特に実施していない」と回答した人)

(N=2)

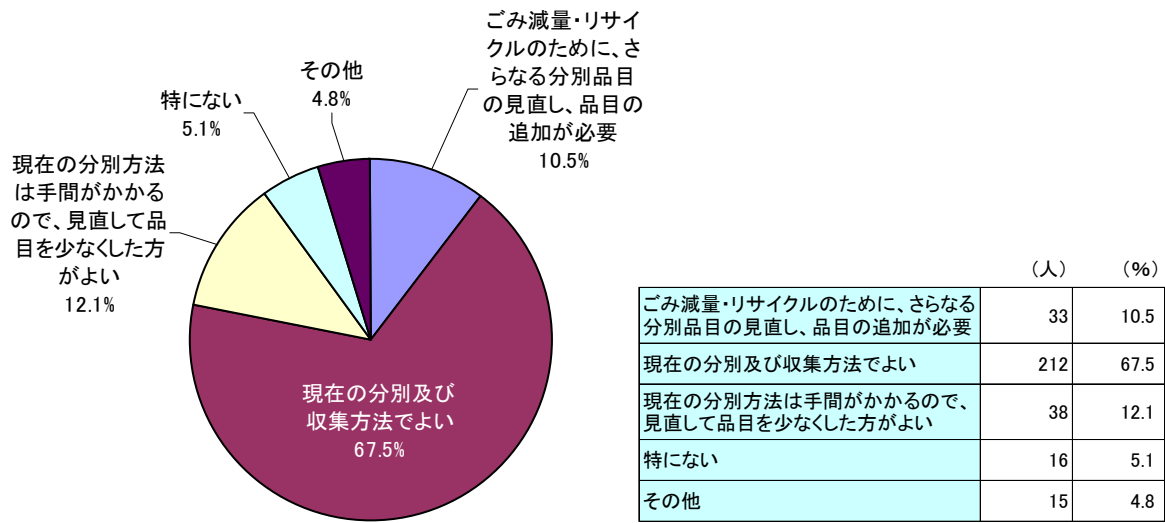
(人)

| | |
|---------------------------|---|
| 取り組みが面倒だから | 1 |
| 取り組みを行っても意味がないと思うから | 1 |
| 取り組む方法が分からないから | 0 |
| 地域で集団回収が行われていないから | 0 |
| 生ごみの堆肥化は費用面や労力面でマイナスであるから | 0 |
| その他 | 0 |

(2) 家庭におけるごみの出し方

●問7 市が実施しているごみの分別方法についてお聞きします。

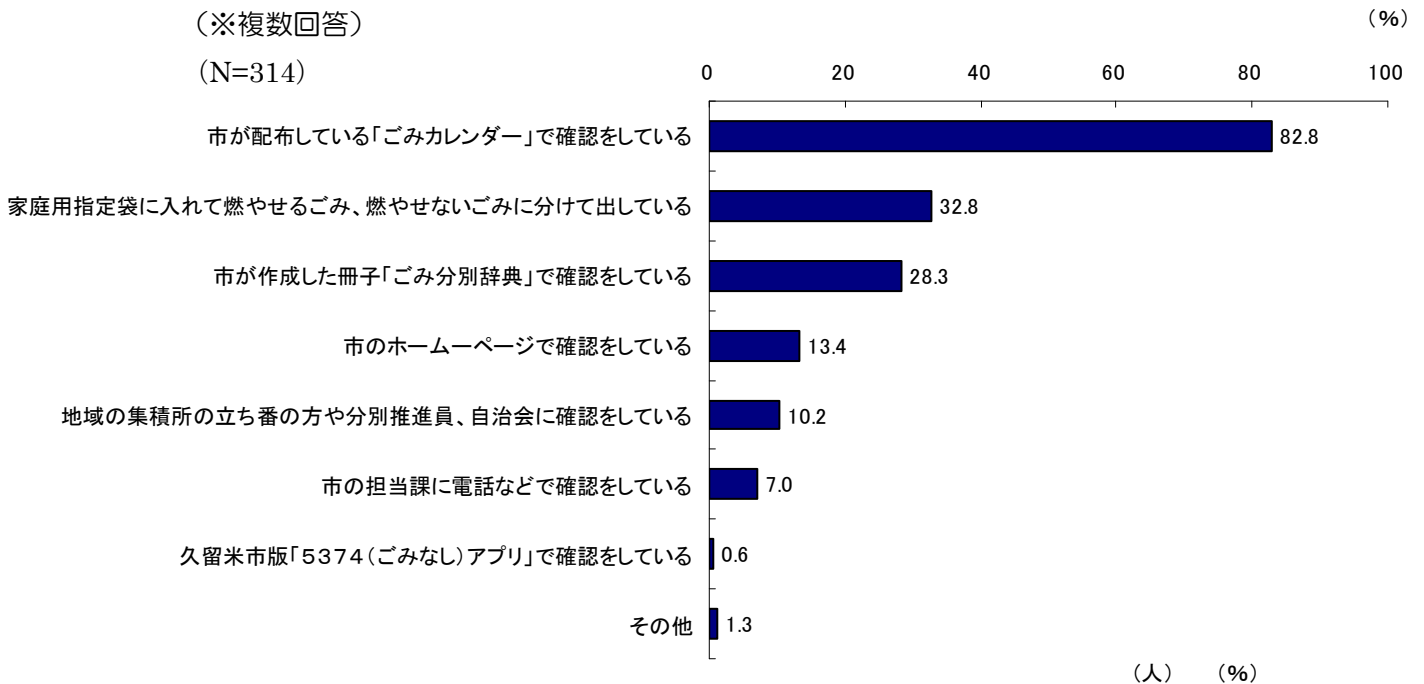
(N=314)



●問8 ごみを分別するのに迷ったときは、どのような対応をしていますか。

(※複数回答)

(N=314)



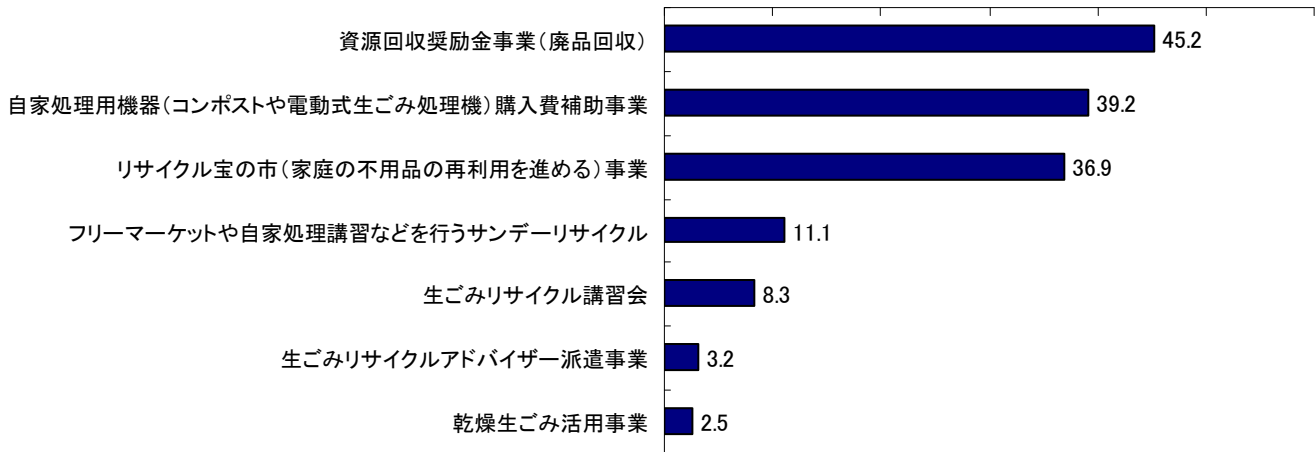
| 対応方法 | (人) | (%) |
|-----------------------------------|-----|------|
| 市が配布している「ごみカレンダー」で確認をしている | 260 | 82.8 |
| 家庭用指定袋に入れて燃やせるごみ、燃やせないごみに分けて出している | 103 | 32.8 |
| 市が作成した冊子「ごみ分別辞典」で確認をしている | 89 | 28.3 |
| 市のホームページで確認をしている | 42 | 13.4 |
| 地域の集積所の立ち番の方や分別推進員、自治会に確認をしている | 32 | 10.2 |
| 市の担当課に電話などで確認をしている | 22 | 7.0 |
| 久留米市版「5374(ごみなし)アプリ」で確認をしている | 2 | 0.6 |
| その他 | 4 | 1.3 |

(3) 市が行う取り組み

●問9 市が実施しているごみの減量・リサイクル施策について、あなたが知っているものはありますか。(※複数回答) (%)

(N=314)

0 10 20 30 40 50 60

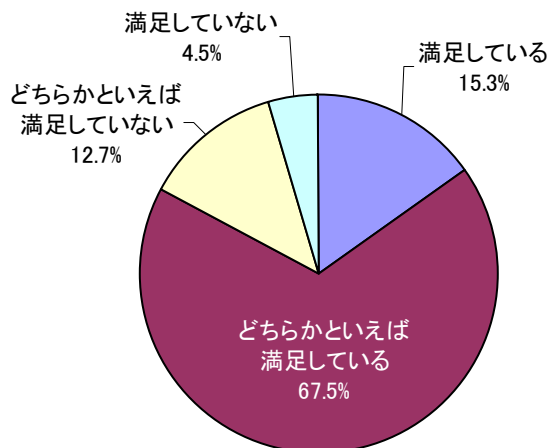


(人) (%)

| 施策 | 人数 (人) | 割合 (%) |
|---------------------------------|--------|--------|
| 資源回収奨励金事業(廃品回収) | 142 | 45.2 |
| 自家処理用機器(コンポストや電動式生ごみ処理機)購入費補助事業 | 123 | 39.2 |
| リサイクル宝の市(家庭の不用品の再利用を進める)事業 | 116 | 36.9 |
| フリーマーケットや自家処理講習などを行うサンデーリサイクル | 35 | 11.1 |
| 生ごみリサイクル講習会 | 26 | 8.3 |
| 生ごみリサイクルアドバイザー派遣事業 | 10 | 3.2 |
| 乾燥生ごみ活用事業 | 8 | 2.5 |

●問10 現在のごみ減量やリサイクル施策についてどの程度満足をしていますか。

(N=314)

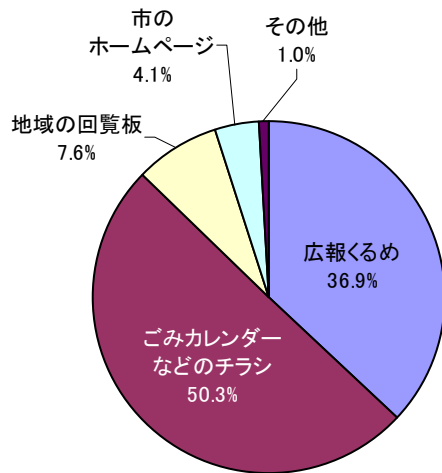


(人) (%)

| 満足度 | 人数 (人) | 割合 (%) |
|-----------------|--------|--------|
| 満足している | 48 | 15.3 |
| どちらかといえば満足している | 212 | 67.5 |
| どちらかといえば満足していない | 40 | 12.7 |
| 満足していない | 14 | 4.5 |

●問11 ごみ減量・リサイクルに関する情報をどのようにして得ていますか。

(N=314)

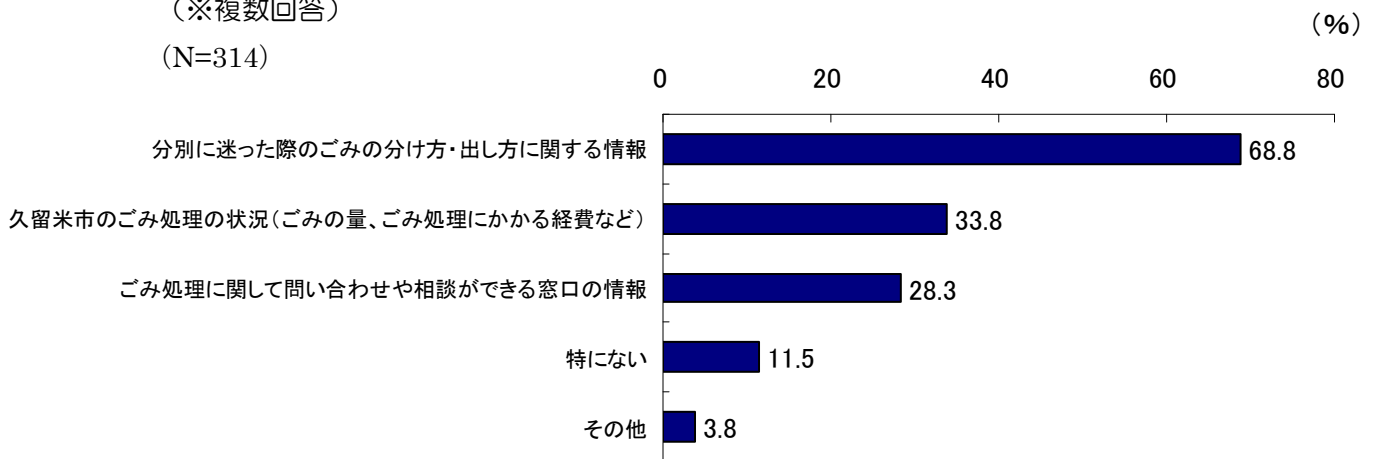


| | (人) | (%) |
|---------------|-----|------|
| 広報くるめ | 116 | 36.9 |
| ごみカレンダーなどのチラシ | 158 | 50.3 |
| 地域の回覧板 | 24 | 7.6 |
| 市のホームページ | 13 | 4.1 |
| その他 | 3 | 1.0 |

●問12 ごみ処理について、どのような情報を知りたいと思いますか。

(※複数回答)

(N=314)

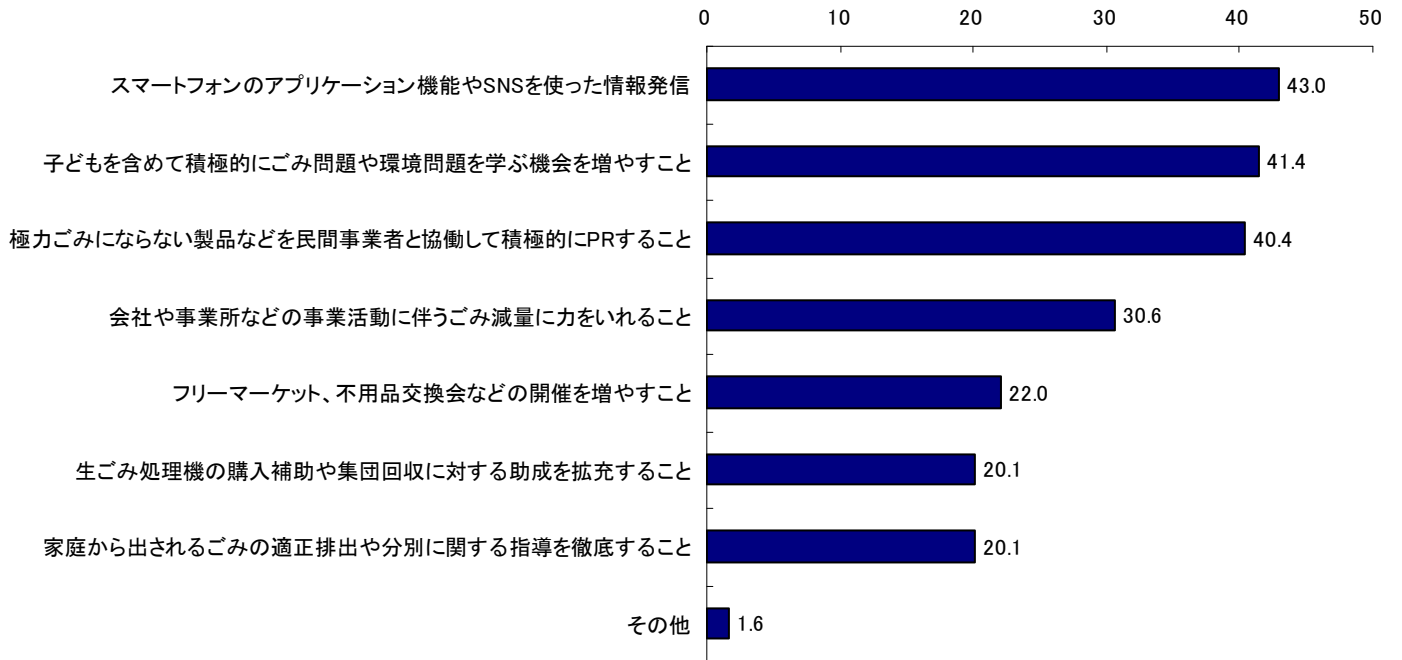


| | (人) | (%) |
|---------------------------------|-----|------|
| 分別に迷った際のごみの分け方・出し方に関する情報 | 216 | 68.8 |
| 久留米市のごみ処理の状況(ごみの量、ごみ処理にかかる経費など) | 106 | 33.8 |
| ごみ処理に関して問い合わせや相談ができる窓口の情報 | 89 | 28.3 |
| 特にない | 36 | 11.5 |
| その他 | 12 | 3.8 |

●問13 今後、ごみ減量とリサイクルを進めて行くために、市はどのような取り組みを行うのが望ましいと考えますか。(※複数回答3つまで)

(N=314)

(%)



(人) (%)

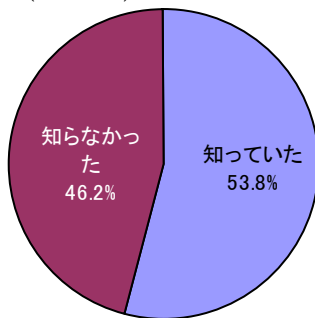
| 取り組み | 人数 (人) | 割合 (%) |
|------------------------------------|--------|--------|
| スマートフォンのアプリケーション機能やSNSを使った情報発信 | 135 | 43.0 |
| 子どもを含めて積極的にごみ問題や環境問題を学ぶ機会を増やすこと | 130 | 41.4 |
| 極力ごみにならない製品などを民間事業者と協働して積極的にPRすること | 127 | 40.4 |
| 会社や事業所などの事業活動に伴うごみ減量に力をいれること | 96 | 30.6 |
| フリーマーケット、不用品交換会などの開催を増やすこと | 69 | 22.0 |
| 生ごみ処理機の購入補助や集団回収に対する助成を拡充すること | 63 | 20.1 |
| 家庭から出されるごみの適正排出や分別に関する指導を徹底すること | 63 | 20.1 |
| その他 | 5 | 1.6 |

2 食と農への理解促進

(4) 久留米市の農業や農産物への意識

- 問15 久留米市は、米麦大豆をはじめ、野菜、花き、植木・苗木、畜産など多様な農業が営まれており、県内で最も農業が盛んな農業都市であることを、あなたは「くるモニ」に参加する前から知っていましたか。

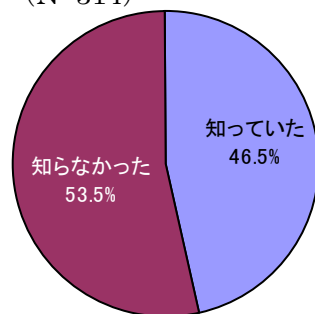
(N=314)



| | (人) | (%) |
|--------|-----|------|
| 知っていた | 169 | 53.8 |
| 知らなかった | 145 | 46.2 |

- 問16 久留米ブランド農産物「リーフレタス」または「サラダ菜」について、「くるモニ」に参加する前から知っていましたか。

(N=314)

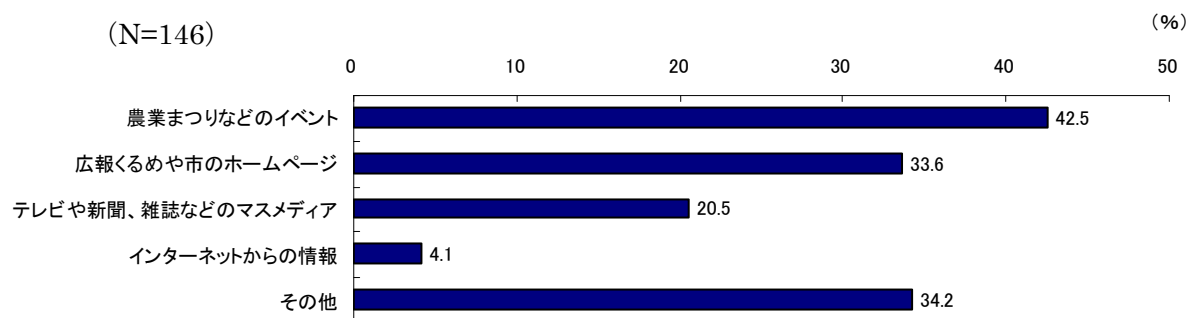


| | (人) | (%) |
|--------|-----|------|
| 知っていた | 146 | 46.5 |
| 知らなかった | 168 | 53.5 |

- 問16付問 どのような方法でお知りになりましたか。

(※複数回答。問16で「知っていた」と回答した人)

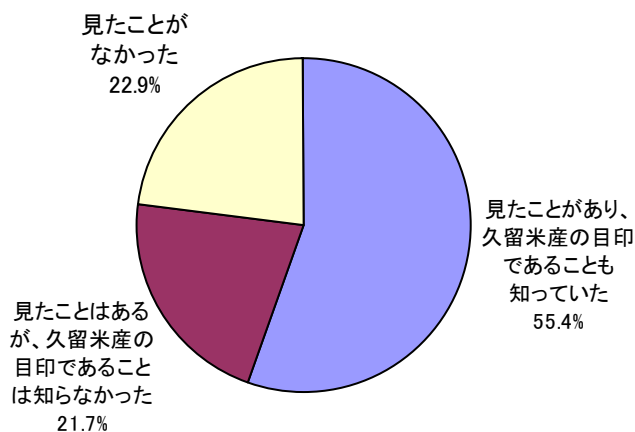
(N=146)



| | (人) | (%) |
|--------------------|-----|------|
| 農業まつりなどのイベント | 62 | 42.5 |
| 広報くもめや市のホームページ | 49 | 33.6 |
| テレビや新聞、雑誌などのマスメディア | 30 | 20.5 |
| インターネットからの情報 | 6 | 4.1 |
| その他 | 50 | 34.2 |

- 問17 久留米市では『キラリ久留米』や『くるっば』のロゴマークを農産物や農産加工品の包装資材等に表示し、久留米産農産物の認知度向上、ブランド化に取り組んでいます。あなたは、農産物や農産加工品に表示している『キラリ久留米』または『くるっば』のロゴマークを、「くるモニ」に参加する前から、見たことがありましたか。

(N=314)

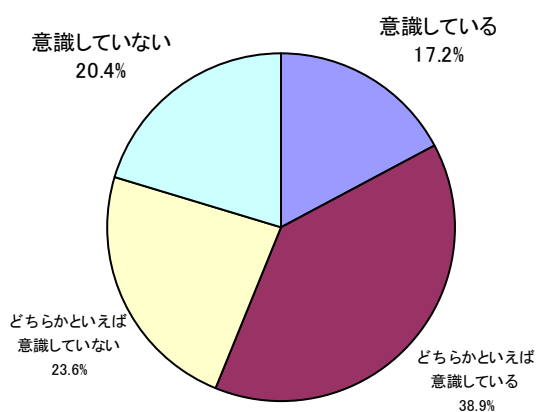


| | (人) | (%) |
|------------------------------|-----|------|
| 見たことがあり、久留米産の目印であることも知っていた | 174 | 55.4 |
| 見たことはあるが、久留米産の目印であることは知らなかった | 68 | 21.7 |
| 見たことがなかった | 72 | 22.9 |

(5) 農業と普段の生活との関わり

- 問18 あなたは日常の食生活で、久留米産農産物を食べるように意識していますか。

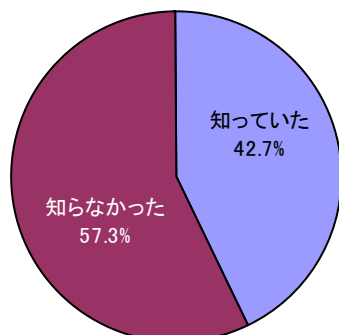
(N=314)



| | (人) | (%) |
|-----------------|-----|------|
| 意識している | 54 | 17.2 |
| どちらかといえば意識している | 122 | 38.9 |
| どちらかといえば意識していない | 74 | 23.6 |
| 意識していない | 64 | 20.4 |

- 問19 久留米市では、市民の皆さんが身近なところで地産地消に取り組める機会を増やすやめに、「地産地消推進店」を募集・登録し、パンフレットなどでお知らせしています。あなたは、「くるモニ」に参加する前から、「地産地消推進店」を知っていましたか。

(N=314)



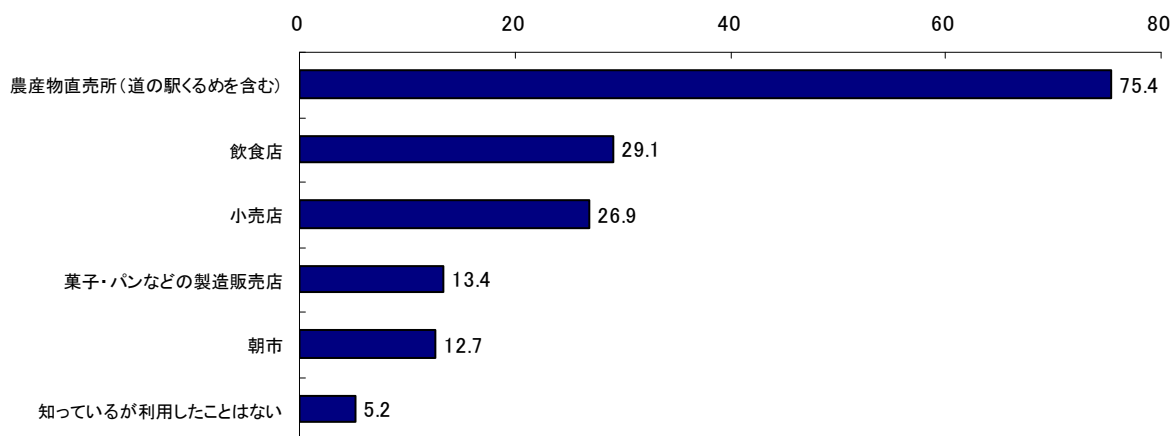
| | (人) | (%) |
|--------|-----|------|
| 知っていた | 134 | 42.7 |
| 知らなかった | 180 | 57.3 |

- 問19付問 利用したことがある地産地消推進店を教えてください。

(※複数回答。問19で「知っていた」と回答した人)

(N=134)

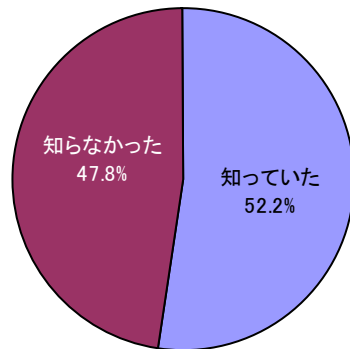
(%)



| | (人) | (%) |
|-------------------|-----|------|
| 農産物直売所(道の駅くるめを含む) | 101 | 75.4 |
| 飲食店 | 39 | 29.1 |
| 小売店 | 36 | 26.9 |
| 菓子・パンなどの製造販売店 | 18 | 13.4 |
| 朝市 | 17 | 12.7 |
| 知っているが利用したことはない | 7 | 5.2 |

- 問20 水田や畑には、洪水を防止する、暑さをやわらげる、多くの生物を育むなどの多面的機能（農業・農村の多面的機能）があることを、あなたは、「くるモニ」に参加する前から知っていましたか。

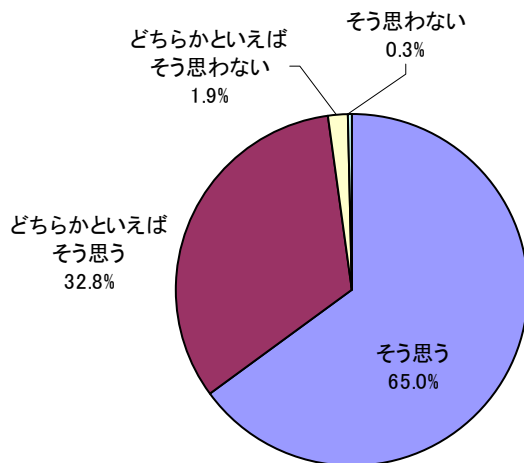
(N=314)



| | (人) | (%) |
|--------|-----|------|
| 知っていた | 164 | 52.2 |
| 知らなかった | 150 | 47.8 |

- 問21 久留米市が、これらの多面的機能を維持・保全するための政策に取り組むことは重要だと思いますか。

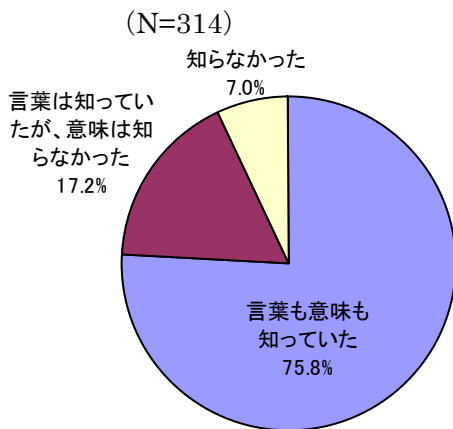
(N=314)



| | (人) | (%) |
|----------------|-----|------|
| そう思う | 204 | 65.0 |
| どちらかといえばそう思う | 103 | 32.8 |
| どちらかといえばそう思わない | 6 | 1.9 |
| そう思わない | 1 | 0.3 |

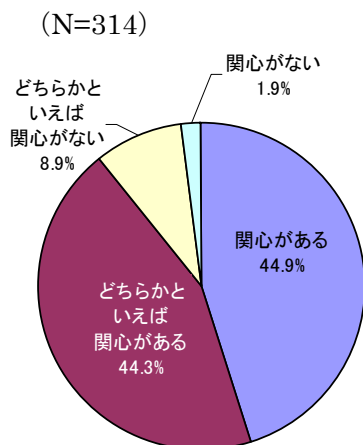
(6) 食育について

- 問22 あなたは、「食育」という言葉やその意味を、「くるモニ」に参加する前から知っていましたか。



| | (人) | (%) |
|---------------------|-----|------|
| 言葉も意味も知っていた | 238 | 75.8 |
| 言葉は知っていたが、意味は知らなかった | 54 | 17.2 |
| 知らなかった | 22 | 7 |

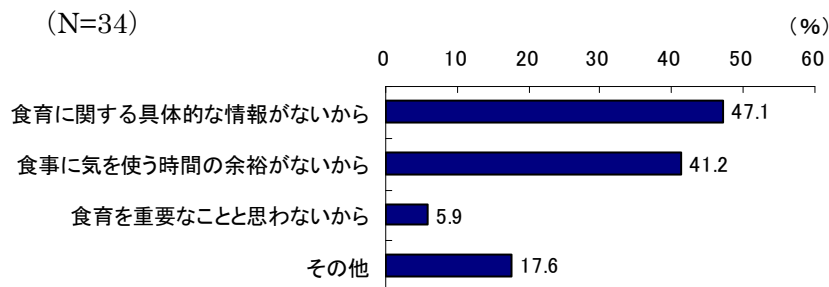
- 問23 あなたは、「食育」に関心がありますか。



| | (人) | (%) |
|---------------|-----|------|
| 関心がある | 141 | 44.9 |
| どちらかといえば関心がある | 139 | 44.3 |
| どちらかといえば関心がない | 28 | 8.9 |
| 関心がない | 6 | 1.9 |

- 問23付問 関心がない理由を教えてください。

(※複数回答。問23で「どちらかといえば関心がない」「関心がない」と回答した人)



| | (人) | (%) |
|-------------------|-----|------|
| 食育に関する具体的な情報がないから | 16 | 47.1 |
| 食事に気を使う時間の余裕がないから | 14 | 41.2 |
| 食育を重要なことと思わないから | 2 | 5.9 |
| その他 | 6 | 17.6 |

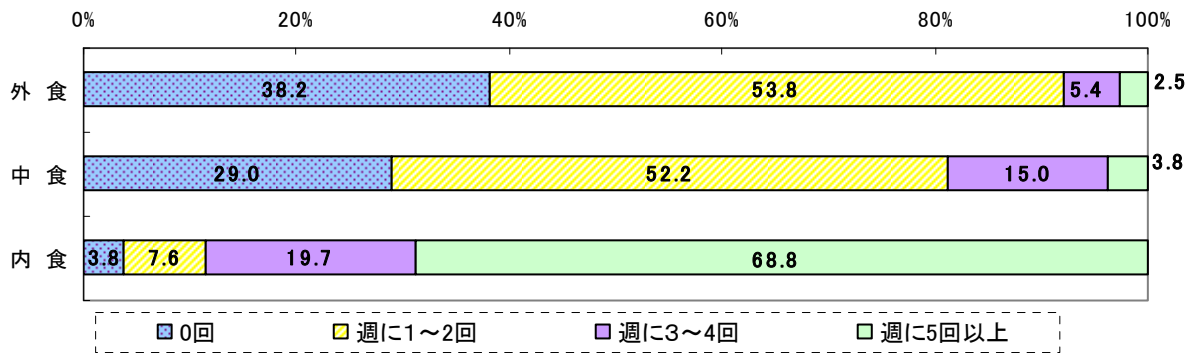
●問24 食事の取り方には「外食」「中食」「内食」があります。あなたは、夕食をどの方法で取っていますか。(※それぞれ1週間のうちの回数)

(N=314)

*外食：家庭以外で食事をとること。(飲食店での食事など)

*中食：調理済の食材を買って持ち帰り、職場や家庭などで食べること。
(惣菜やコンビニエンスストアのお弁当など)

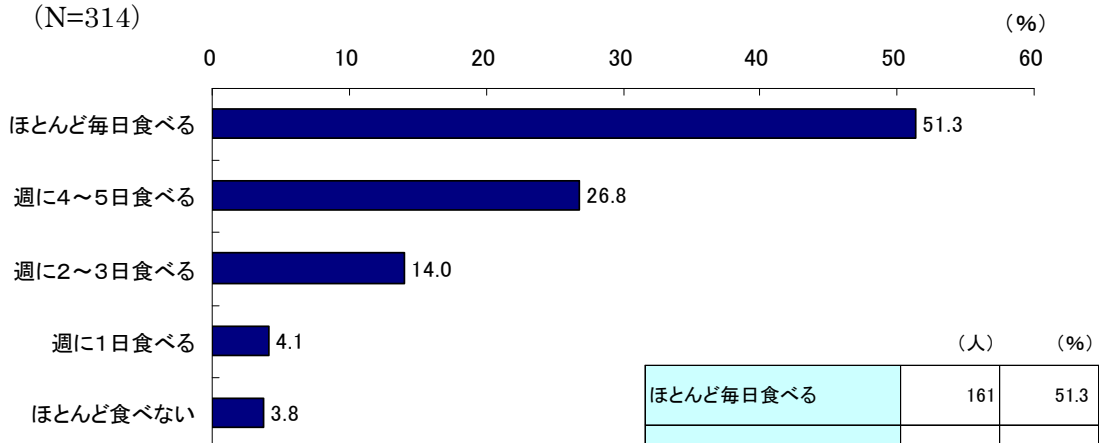
*内食：家庭内で食材を調理して食事をとること。



| | 0回 | 週に1~2回 | 週に3~4回 | 週に5回以上 | 計 | (%) |
|----|------|--------|--------|--------|-----|-----|
| 外食 | 38.2 | 53.8 | 5.4 | 2.5 | 100 | |
| 中食 | 29.0 | 52.2 | 15.0 | 3.8 | 100 | |
| 内食 | 3.8 | 7.6 | 19.7 | 68.8 | 100 | |

●問25 市では栄養バランスの良い健全な食生活を実践する食育を推進しています。1日に2回以上、主食・主菜・副菜をそろえて食べるのが、週に何日ありますか。

(N=314)



| 頻度 | 人数 | 割合 (%) |
|-----------|-----|--------|
| ほとんど毎日食べる | 161 | 51.3 |
| 週に4~5日食べる | 84 | 26.8 |
| 週に2~3日食べる | 44 | 14.0 |
| 週に1日食べる | 13 | 4.1 |
| ほとんど食べない | 12 | 3.8 |

V 使用した調査票

平成30年度市政アンケートモニター「くるモニ」

第3回「ごみの減量とリサイクルの推進」「食と農への理解促進」アンケート

調査期間：平成30年10月19日（金）から11月12日（月）まで

このアンケートは、「ごみの減量とリサイクルの推進」は、ごみ処理についての、家庭における取り組みの実態や市が行っている取り組みの認知度・満足度などを把握し、また「食と農への理解促進」は農業や農産物、食育に関する認知度や意識などを把握して、今後の取り組みの参考にするために行います。ご協力をお願いいたします。

あなた本人のことについておたずねします

問1 あなたの家の家族構成は。（あてはまる番号に1つだけ○印）

- | | |
|------------|--------------------|
| 1 単身 | 4 親・子・孫（3世代） |
| 2 夫婦だけ | 5 その他（具体的に： _____） |
| 3 親・子（2世代） | |

問2 あなたの世帯の人数は。（あてはまる番号に1つだけ○印）

- | | |
|------|--------|
| 1 1人 | 4 4人 |
| 2 2人 | 5 5人 |
| 3 3人 | 6 6人以上 |

問3 あなたのお住まいの形態は。（あてはまる番号に1つだけ○印）

- 1 持ち家（一戸建て）
- 2 持ち家（アパート、マンションなど）
- 3 借家住宅（一戸建て）
- 4 賃貸住宅（アパート、マンションなど）
- 5 勤務先給与住宅（公務員住宅・社宅・寮など）
- 6 間借り、その他（具体的に： _____）



1. ごみの減量とリサイクルの推進について

久留米市では、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づいて計画を策定し、一般廃棄物を適正に処理するとともに、さらなるごみの減量・リサイクルの推進に取り組んでいます。

家庭におけるごみ減量化の取り組みについておたずねします

問4 ごみを出さない取り組み（リデュース）として、あなたが実践しているものは何ですか。（あてはまる番号にいくつでも○印）

- 1 無駄なごみになるようなものを買わない、もらわないように心がけている
- 2 買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋は使わないようにしている
- 3 外食の際にはマイ箸を使用し、割り箸を使わないようにしている
- 4 生ごみを出すときは、水切りをしてから出している
- 5 野菜を丸ごと使うなど、調理くずが出ないように心がけている
(エコ・クッキング)
- 6 食べ残しや期限切れなどの食品ロスを減らすように心がけている
- 7 特に実践していない
- 8 その他

具体的に：

付問 問4で「特に実践していない」と回答された方におたずねします。

あなたのごみを出さない取り組み（リデュース）を実践していない理由は何ですか。
（あてはまる番号にいくつでも○印）

- 1 取り組みが面倒だから
- 2 取り組む方法が分からないから
- 3 取り組みを行っても意味がないと思うから
- 4 その他

具体的に：

問5 繰り返し使う取り組み（リユース）として、あなたが実践しているものは何ですか。
(あてはまる番号にいくつでも○印)

- 1 シャンプーや洗剤などは詰め替えができる商品を購入するようにしている
- 2 フリーマーケットやリユースショップをよく利用している
- 3 家具や家電製品などは修理して使用している
- 4 特に実践していない
- 5 その他

具体的に：

付問 問5で「特に実践していない」と回答された方におたずねします。

あなたが繰り返し使う取り組み（リユース）を実践していない理由は何ですか。
(あてはまる番号にいくつでも○印)

- 1 取り組みが面倒だから
- 2 取り組む方法が分からないから
- 3 取り組みを行っても意味がないと思うから
- 4 その他

具体的に：

問6 ごみを再資源化して利用する取り組み（リサイクル）として、あなたが実践しているものは何ですか。(あてはまる番号にいくつでも○印)

- 1 市が実施している分別収集どおりに出している
- 2 食品トレイなどをスーパーなどの販売店に持って行っている
- 3 地域やPTAなどの集団回収を利用している
- 4 生ごみの堆肥化に取り組んでいる
- 5 資源物や古紙などを民間の回収ボックスに出している
- 6 特に実践していない
- 7 その他

具体的に：

付問 問6で「特に実践していない」と回答された方におたずねします。

あなたがごみを再資源化して利用する取り組み（リサイクル）を実践していない理由は何ですか。（あてはまる番号にいくつでも○印）

- 1 取り組みが面倒だから
- 2 取り組む方法が分からないから
- 3 取り組みを行っても意味がないと思うから
- 4 地域で集団回収が行われていないから
- 5 生ごみの堆肥化は費用面や労力面でマイナスであるから
- 6 その他

具体的に：

家庭におけるごみの出し方についておたずねします

問7 市が実施しているごみの分別方法についてお聞きします。

（あてはまる番号に1つだけ○印）

- 1 ごみ減量・リサイクルのために、さらなる分別品目の見直し、品目の追加が必要である
- 2 現在の分別及び収集方法でよい
- 3 現在の分別方法は手間がかかるので、見直して品目を少なくした方がよい
- 4 特にない
- 5 その他

具体的に：

問8 ごみを分別するのに迷ったときは、どのような対応をしていますか。(あてはまる番号にいくつでも○印)

- 1 市が配布している「ごみカレンダー」で確認をしている
- 2 市が作成した冊子「ごみ分別辞典」で確認をしている
- 3 市のホームページで確認をしている
- 4 久留米市版「5374（ごみなし）アプリ」(※)で確認をしている
- 5 市の担当課に電話などで確認をしている
- 6 地域の集積所の立ち番の方や分別推進員、自治会に確認をしている
- 7 家庭用指定袋に入れて燃やせるごみ、燃やせないごみに分けて出している
- 8 その他

具体的に：

※「5374（ごみなし）アプリ」とは、パソコンやスマートフォンからごみの収集や分別について簡単に知ることができるアプリです。

※アプリとは、アプリケーションの略で、スマートフォンなどに入れて使える様々なソフトのことです。

市が行う取り組みについておたずねします

問9 市が実施しているごみの減量・リサイクル施策について、あなたが知っているものはありますか。(あてはまる番号にいくつでも○印)

- 1 資源回収奨励金事業（廃品回収）
- 2 自家処理用機器（コンポストや電動式生ごみ処理機）購入費補助事業
- 3 リサイクル室の市（家庭の不用品の再利用を進める）事業
- 4 フリーマーケットや自家処理講習などを行うサンデーリサイクル
- 5 生ごみリサイクル講習会
- 6 生ごみリサイクルアドバイザー派遣事業
- 7 乾燥生ごみ活用事業

問10 市では、ごみ減量やリサイクルを推進するため、問9の選択肢にあるような施策に取り組んでいますが、現在のごみ減量やリサイクル施策についてどの程度満足をしていますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)

- 1 満足している
- 2 どちらかという満足している
- 3 どちらかという満足していない
- 4 満足していない

問1 1 ごみ減量・リサイクルに関する情報をどのようにして得ていますか。

(あてはまる番号に1つだけ○印)

- | | |
|-----------------|------------|
| 1 広報くるめ | 4 市のホームページ |
| 2 ごみカレンダーなどのチラシ | 5 その他 |
| 3 地域の回覧板 | |

具体的に：

問1 2 ごみ処理について、どのような情報を知りたいと思いますか。

(あてはまる番号にいくつでも○印)

- 1 分別に迷った際のごみの分け方・出し方に関する情報
- 2 ごみ処理に関して問い合わせや相談ができる窓口の情報
- 3 久留米市のごみ処理の状況（ごみの量、ごみ処理にかかる経費など）
- 4 特になし
- 5 その他

具体的に：

問1 3 今後、ごみ減量とリサイクルを進めて行くために、市はどのような取り組みを行なうのが望ましいと考えますか。次の中から3つ（2つ以内でも構いません）を選び、番号に○印をつけてください。

- 1 スマートフォンのアプリケーション機能やSNS（※）を使った情報発信
- 2 極力ごみにならない製品などを民間事業者と協働して積極的にPRすること
- 3 子どもを含めて積極的にごみ問題や環境問題を学ぶ機会を増やすこと
- 4 生ごみ処理機の購入補助や集団回収に対する助成を拡充すること
- 5 家庭から出されるごみの適正排出や分別に関する指導を徹底すること
- 6 フリーマーケット、不用品交換会などの開催を増やすこと
- 7 会社や事業所などの事業活動に伴うごみ減量に力を入れること
- 8 その他

(具体的に)

※SNSとは、ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略称で、インターネットを介して人間関係を構築できるスマートフォンやパソコン用のウェブサービスのことです。

問14 今後のごみ減量やリサイクルについてご意見やご要望があれば、自由にお書きください。(自由意見)

A large empty bracketed area for writing answers, consisting of two large square brackets facing each other, with a wide gap between them.

※これで「ごみの減量とリサイクルの推進」についての質問を終了します。
次のページからは「食と農への理解促進」についておたずねします。

2. 食と農への理解促進について

久留米市では、食育フェスタなど農業関連イベントの開催やホームページ・冊子などを活用した食と農の情報発信などに取り組んできました。

平成 27 年度からは「第 2 期久留米市食料・農業・農村基本計画」を、平成 28 年度からは「第 3 次久留米市食育推進プラン」をスタートし、行政だけでなく、関係団体や市民の皆さんとの協働による農業振興や食育推進に取り組んでいます。

久留米市の農業や農産物への意識についておたずねします

問 1 5 久留米市は、米麦大豆をはじめ、野菜、花き、植木・苗木、畜産など多様な農業が営まれており、県内で最も農業が盛んな農業都市であることを、あなたは、「くるモニ」に参加する前から知っていましたか。

(あてはまる番号に1つだけ○印)

1 知っていた

2 知らなかった

<県内最大の農業都市の一例>

◆県内1、2位の生産量や飼養頭数を誇る農産物(抜粋)

米、小麦、ほうれんそう、リーフレタス、サラダ菜、たまねぎ、いちご(あまおう)

カーネーション、シクラメン、洋ラン、乳用牛 など

◆農業就業人口(県内1位) ◆経営耕地面積(県内1位) ◆市町村別農業産出額(県内1位)

問 1 6 久留米ブランド農産物「リーフレタス」または「サラダ菜」について、「くるモニ」に参加する前から知っていましたか。

(あてはまる番号に1つだけ○印)

1 知っていた

2 知らなかった

次ページ付問へ



【リーフレタス】

リーフレタスとは非結球レタスのこと。久留米市は、出荷量全国2位(H26年産)を誇る福岡県内で約75%のシェアを占める全国有数の産地です。

またサラダ菜も全国出荷量1位(H28年産)を誇る福岡県内で約80%のシェアを占める全国有数の産地です。



【サラダ菜】

付問 問16で「1 知っていた」と回答された方におたずねします。どのような方法でお知りになりましたか。

(あてはまる番号にいくつでも○印)

- 1 農業まつりなどのイベント
- 2 広報くるめや市のホームページ
- 3 テレビや新聞、雑誌などのマスメディア
- 4 インターネットからの情報（市のホームページを除く）
- 5 その他

久留米市では、「リーフレタス（H26年度～）」「サラダ菜（H29年度～）」のブランド化に取り組んでおり、イベントでのPRや、市長による市場関係者に向けたトップセールスなどを行っています。

問17 久留米市では『キラリ久留米』や『くるっば』のロゴマークを農産物や農産加工品の包装資材等に表示し、久留米産農産物の認知度向上、ブランド化に取り組んでいます。あなたは、農産物や農産加工品に表示している『キラリ久留米』または『くるっば』のロゴマークを、「くるモニ」に参加する前から、見たことがありましたか。（あてはまる番号に1つだけ○印）

- 1 見たことがあり、久留米産の目印であることも知っていた
- 2 見たことはあるが、久留米産の目印であることは知らなかった
- 3 見たことがなかった



農業と普段の生活との関わりについておたずねします

問18 あなたは日常の食生活で、久留米産農産物を食べるように意識していますか。
(あてはまる番号に1つだけ○印)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 意識している | 3 どちらかといえば意識していない |
| 2 どちらかといえば意識している | 4 意識していない |

問19 久留米市では、市民の皆さんが身近なところで地産地消に取り組める機会を増やすために、「地産地消推進店」を募集・登録し、パンフレットなどでお知らせしています。あなたは、「くるモニ」に参加する前から、「地産地消推進店」を知っていましたか。
(あてはまる番号に1つだけ○印)

- | | |
|---------|----------|
| 1 知っていた | 2 知らなかった |
|---------|----------|

次ページ付問へ

付問 問19で「1 知っていた」と回答された方におたずねします。利用したことがある地産地消推進店を教えてください。
(あてはまる番号にいくつでも○印)

- | | |
|-------|---------------------|
| 1 小売店 | 4 農産物直売所（道の駅くるめを含む） |
| 2 朝市 | 5 菓子・パンなどの製造販売店 |
| 3 飲食店 | 6 知っているが利用したことはない |



※ 地産地消とは

「地域で生産されたものを、その地域で消費すること」をいいます。

※ 地産地消推進店とは

久留米産の農産物を使った加工品を積極的に販売・活用する店舗等で、平成30年9月現在285店舗が登録されており、左の「食べてにっこりお米のマーク」が目印です。

問20 水田や畑には、洪水を防止する、暑さをやわらげる、多くの生物を育むなどの多面的機能（農業・農村の多面的機能）があることを、あなたは、「くるモニ」に参加する前から知っていましたか。

（あてはまる番号に1つだけ○印）

1 知っていた

2 知らなかった

※「農業・農村の多面的機能」とは

農業や農村地域は、農作物を生産する役割だけでなく、私たちの生活に様々な『めぐみ』をもたらしています。水田は雨水を貯蔵し、洪水や土砂崩れを防止したり、多くの生物を育みます。また、美しい農村地域の景観は私たちの心を和ませてくれます。これらの役割を農業・農村の持つ多面的機能といいます。



【農業・農村の多面的機能のイメージ図

出典：農林水産省ホームページ】

問21 久留米市が、これらの多面的機能を維持・保全するための政策に取り組むことは重要だと思いますか。

（あてはまる番号に1つだけ○印）

1 そう思う

3 どちらかといえばそう思わない

2 どちらかといえばそう思う

4 そう思わない

食育についておたずねします

問22 あなたは、「食育」という言葉やその意味を、「くるモニ」に参加する前から、知っていましたか。

(あてはまる番号に1つだけ○印)

- 1 言葉も意味も知っていた
- 2 言葉は知っていたが、意味は知らなかった
- 3 知らなかった

※「食育」とは

様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、自然の恩恵や「食」に関わる人々への感謝の念を深め、健全な食生活を実践することができるように取り組むことです。

問23 あなたは、「食育」に関心がありますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 関心がある | 3 どちらかといえば関心がない |
| 2 どちらかといえば関心がある | 4 関心がない |

付問 問23で「3 どちらかといえば関心がない」「4 関心がない」と回答された方におたずねします。関心がない理由を教えてください。

(あてはまる番号にいくつでも○印)

- 1 食育に関する具体的な情報がないから
- 2 食事に気を使う時間の余裕がないから
- 3 食育を重要なことと思わないから
- 4 その他 ()

問24 食事の取り方には「外食」「中食」「内食」があります。あなたは、夕食をどの方法で取っていますか。それぞれの1週間のうちの回数を、1～4の中から1つだけ○印をつけてください。

※「外食」とは、家庭以外で食事をとることです。飲食店での食事が含まれます。

※「中食」とは、調理済みの食材を買って持ち帰り、職場や家庭などで食べることです。惣菜やコンビニエンスストアのお弁当等が含まれます。

※「内食」とは、家庭内で食材を調理して、食事をとることです。

外食 (1 0回, 2 週に1～2回, 3 週に3～4回, 4 週に5回以上)

中食 (1 0回, 2 週に1～2回, 3 週に3～4回, 4 週に5回以上)

内食 (1 0回, 2 週に1～2回, 3 週に3～4回, 4 週に5回以上)

問25 市では栄養バランスの良い健全な食生活を実践する食育を推進しています。あなたは、1日に2回以上、主食・主菜・副菜をそろえて食べることが、週に何日ありますか。

(あてはまる番号に1つだけ○印)

- ※ 「主食」とは、米、パン、めん類などを使った料理です。
- ※ 「主菜」とは、魚や肉、卵、大豆製品を使った副食の中心となる料理です。
- ※ 「副菜」とは、野菜、きのこ、海藻などを使った料理です。

- | | |
|-------------|------------|
| 1 ほとんど毎日食べる | 4 週に1日食べる |
| 2 週に4～5日食べる | 5 ほとんど食べない |
| 3 週に2～3日食べる | |



アンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました

編集・発行／久留米市 協働推進部 広聴・相談課

住所 久留米市城南町1-5番地3

TEL 0942-30-9015

FAX 0942-30-9711

E-Mail sodan@city.kurume.fukuoka.jp